

超低速・超低床トレッドミル

レフェクティオ

Refectio RFT-001J

ユーザーズマニュアル



このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この製品は従来にはない機能を盛り込んだ高性能の超低速・超低床トレッドミルです。

ご使用にあたっては本ユーザーズマニュアルをよくお読み頂き、安全かつ正しくご使用ください。

もくじ




- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 本製品の特徴 … P1 | 8. メンテナンス … P32 |
| 2. 安全にご使用頂くために … P2 | 8-1. ランニングベルトの調整 … P32 |
| 3. 名称 … P4 | 8-2. 日常の点検とお手入れ … P34 |
| 4. 梱包内容 … P5 | 9. Q&A … P35 |
| 5. 組立方法 … P6 | 10. 製品仕様 … P36 |
| 6. 移動方法 … P14 | 11. 保証 … P37 |
| 7. 使用方法 … P15 | |
| 7-1. 使用前の設置 … P15 | |
| 7-2. 使用前の準備 … P16 | |
| 7-3. 操作方法 … P17 | |
| 1) 前歩行・後歩行モード … P19 | |
| 2) 前後運動モード … P22 | |
| 3) 停止操作 … P28 | |
| 4) ハンドル部ボタン操作 … P30 | |
| 5) グリップセンサーの使い方 … P31 | |

1. 本製品の特徴


- ◆ 時速 0.2Km からの超低速運動が可能
- ◆ ベルト高さわずか 8.0cm の超低床設計
- ◆ 前歩行・後歩行に加え、ベルトが前後に動く前後運動機能を搭載
- ◆ 乗り降り時も安心のロングハンドルに加え、身長や体格に合わせてハンドル位置が変えられる
アディショナルハンドルを付属
- ◆ 安全性を考慮した 2 種類の緊急停止ボタンを用意

2. 安全にご使用頂くために

■ 警告・注意記号について

 警告	この表示の注意事項を守らない場合、死亡や大けがにつながる恐れがありますので、必ず注意事項を遵守してください。
 注意	この表示の注意事項を守らない場合、けがをしたり、製品を破損する恐れがありますので、必ず注意事項を遵守してください。
 i	アドバイスなどを明示します。

■ 警告・注意内容

 警告	<ul style="list-style-type: none">◆製品のいかなる改造を禁止します。改造により感電や火災が発生したり、製品の破損により大きな事故が発生する恐れがあります。◆製品は屋内の平らな場所に設置してください。屋外で使用すると雨などにより感電や火災が発生したり、砂やほこりなどで製品が破損し大きな事故が発生する恐れがあります。また屋内に設置の場合でも、水がかかるような環境でのご使用は危険です。◆本製品は日本国内でご使用ください。海外でのご使用は電源電圧の相違などから、製品が破損し感電や火災につながる恐れがあります。◆本製品は単相 AC100V15A の電源が必要となります。タコ足配線はおやめください。出来る限り延長コードの使用をご遠慮ください。どうしても使用する場合は必ず 15A 以上の 2m 以内の延長コードをご使用ください。◆可動する部分（ランニングベルト、ローラーなど）に、指や物を近づけないでください。巻き込まれると大きな事故につながります。また巻き込まれる恐れのある服装の着用はお止め下さい。◆使用中に機器に異常を感じたら、すぐに使用を中止し、点検をしてください。◆持病のある方はかかりつけの医師にご相談下さい。医師から適切な運動プログラムを組み立ててもらい無理のない運動をしましょう。◆お子様或いはペットを本機に近づけないでください。お子様またはお身体の不自由な方が保護者の指導監督なしに勝手に使用しない様、注意して下さい。◆使用中に体に異常を感じたら、すぐに使用を中止し、医師や介助人に相談してください。
---	--



注意

«ご使用前に»

- ◆ 本製品を移動する場合は、必ず電源ケーブルを抜いてください。
- ◆ ご使用前には、正しく組立されていることを確認してください。
特にネジの緩みがないか確認してください。
- ◆ 製品の設置は必ず安定した平坦で丈夫な床に設置して下さい。また、がたつきがないか確認してください。がたつきがある場合は必ず調整をしてください。
調整方法は『7-1 使用前の設置』(P15) を参照してください。
- ◆ 安全のため、製品の周囲には十分なスペースを確保してください。
目安としては前方・側面は 50cm 程度、後方は 150cm 以上をお考えください。
- ◆ 本製品は一人用の機器ですので、二人以上では使用しないでください。
- ◆ 本製品は体重が 100Kg 以下の方にご使用頂けます。
100Kg 以上の方が使用すると破損の恐れや、正常に動作しない可能性があります。

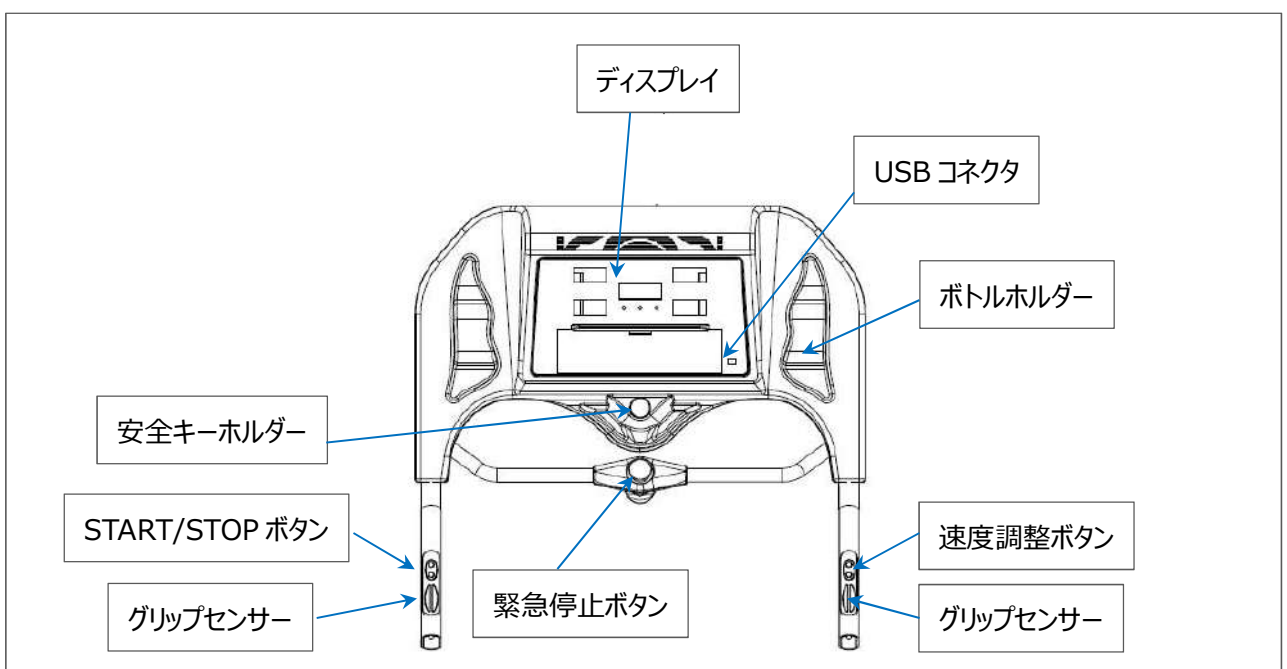
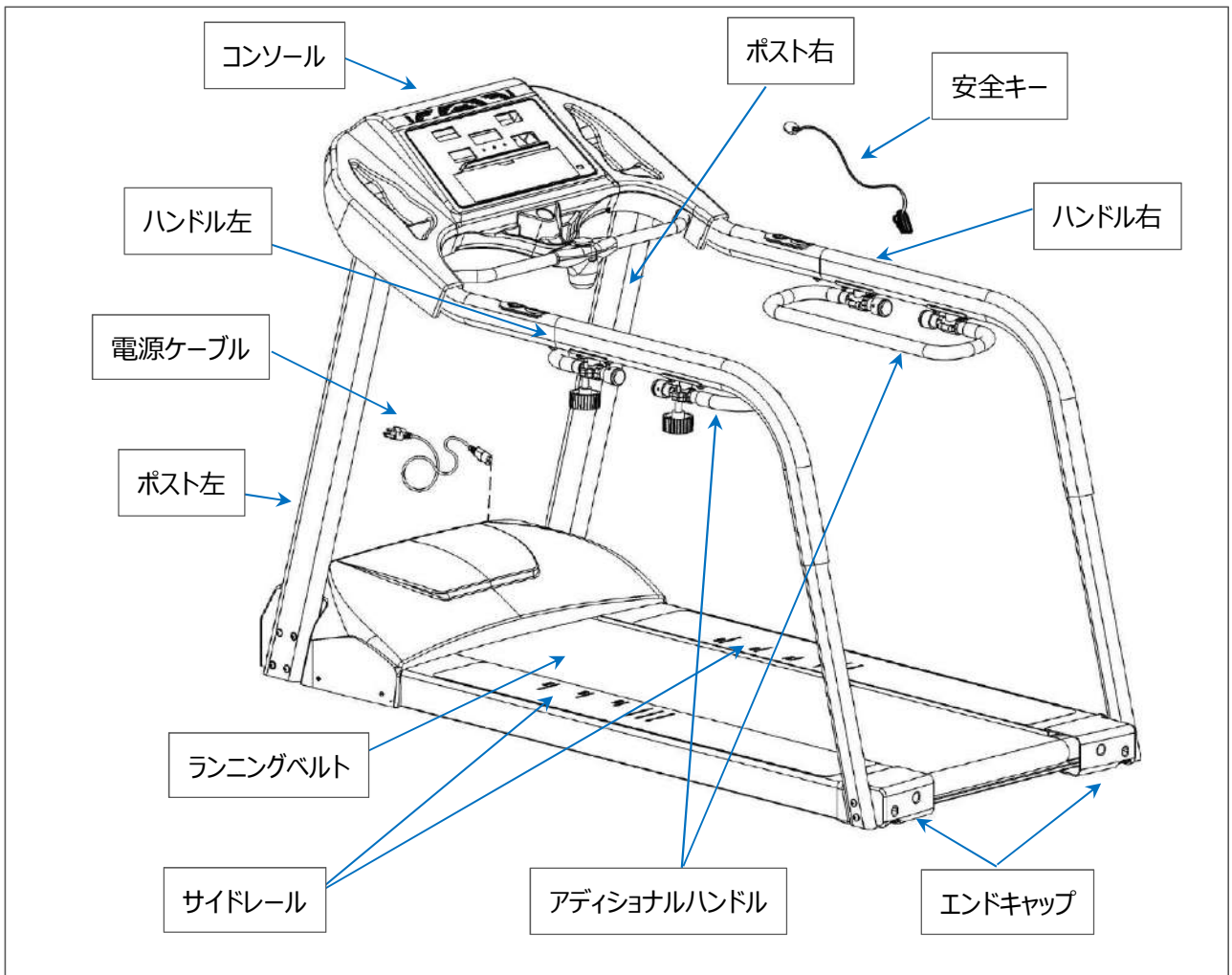
«ご使用中»

- ◆ 運動中は安全のためにハンドルまたはアディショナルハンドルをつかんでください。
但しハンドルやアディショナルハンドルにぶら下がったり、上から過度に押さえつけたりしないでください。ハンドルやアディショナルハンドルは体を支えるためのものです。
- ◆ ご使用の際は安全キーを衣服に装着してください。
- ◆ 速度の設定は無理のない範囲でお使いください。特に運動を開始する際に速い速度設定になっていると思わぬけがをする可能性がありますのでご注意ください。
- ◆ 本機ご使用の場合はゆったりとした服装はおやめください。また、靴を履いてご使用ください。裸足や靴下のままで使用しない様ご注意ください。

«メンテナンス・保管»

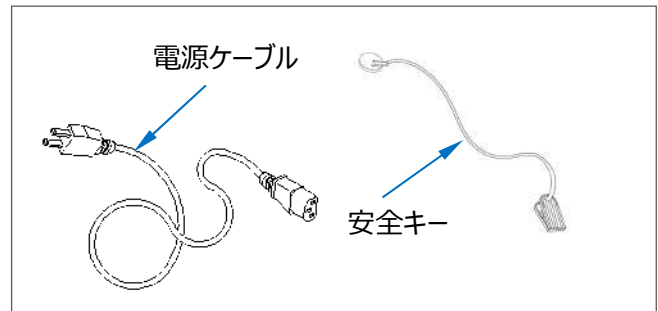
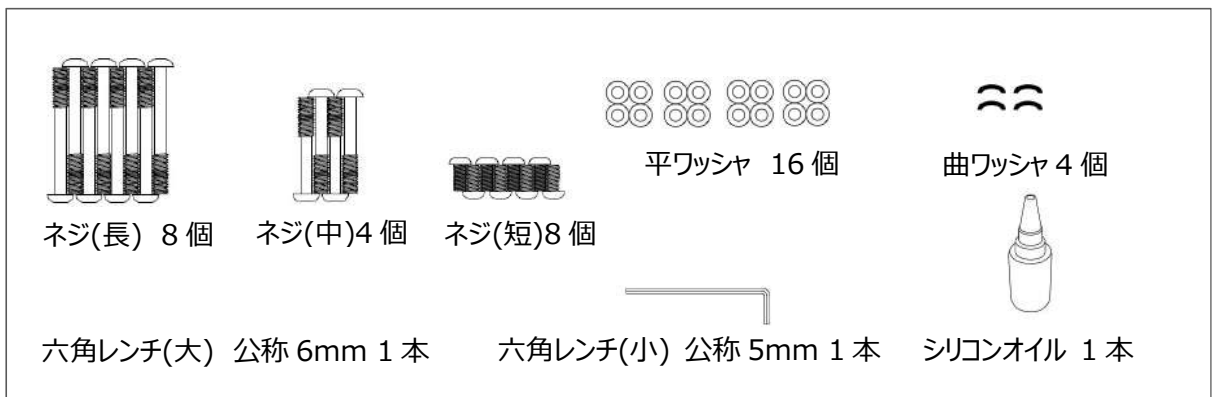
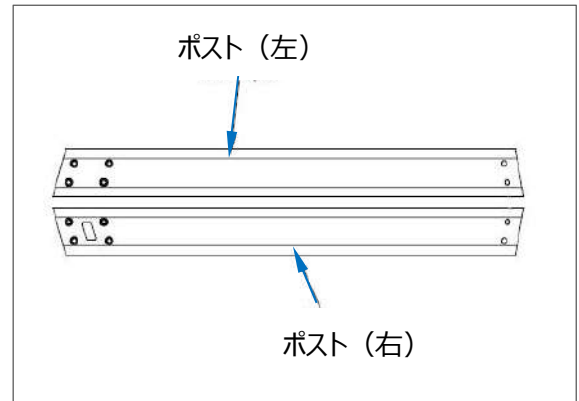
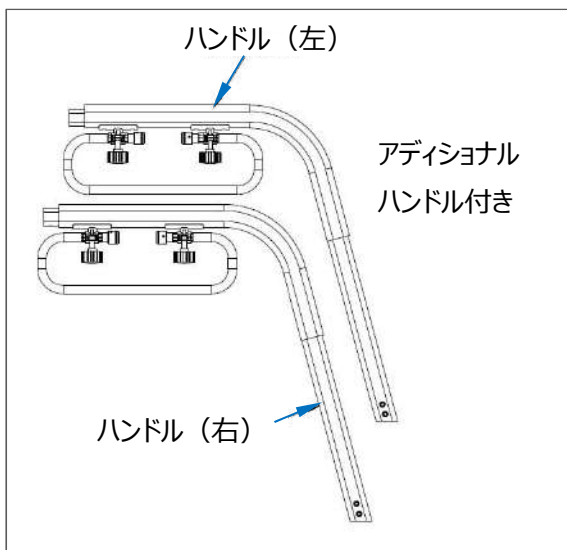
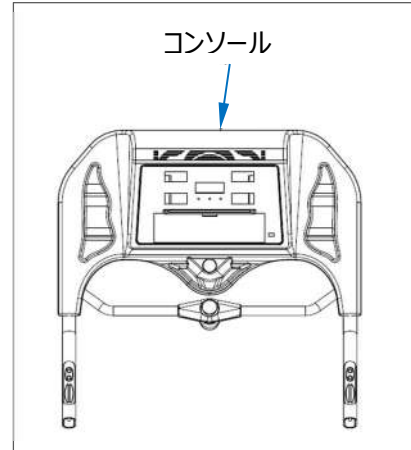
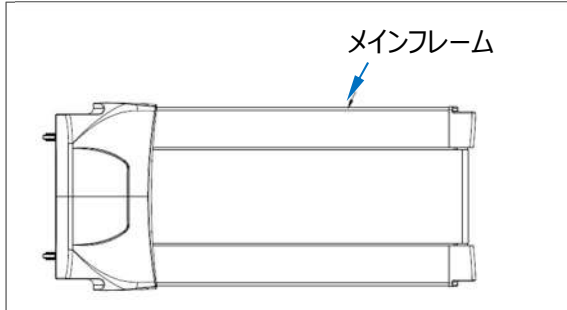
- ◆ 本ユーザーズマニュアルの『8. メンテナンス』(P32) を参照し、
定期的なメンテナンス・点検を行ってください。
- ◆ 長期間使用しない時は、電源ケーブルを抜いてください。
また埃や水が掛からないよう注意してください。

3. 名称



4. 梱包内容

ご購入時は、箱の中に下記のユニットが収容されています。まずは内容物が揃っているかご確認ください。もし不足のものがあれば販売店にご連絡ください。

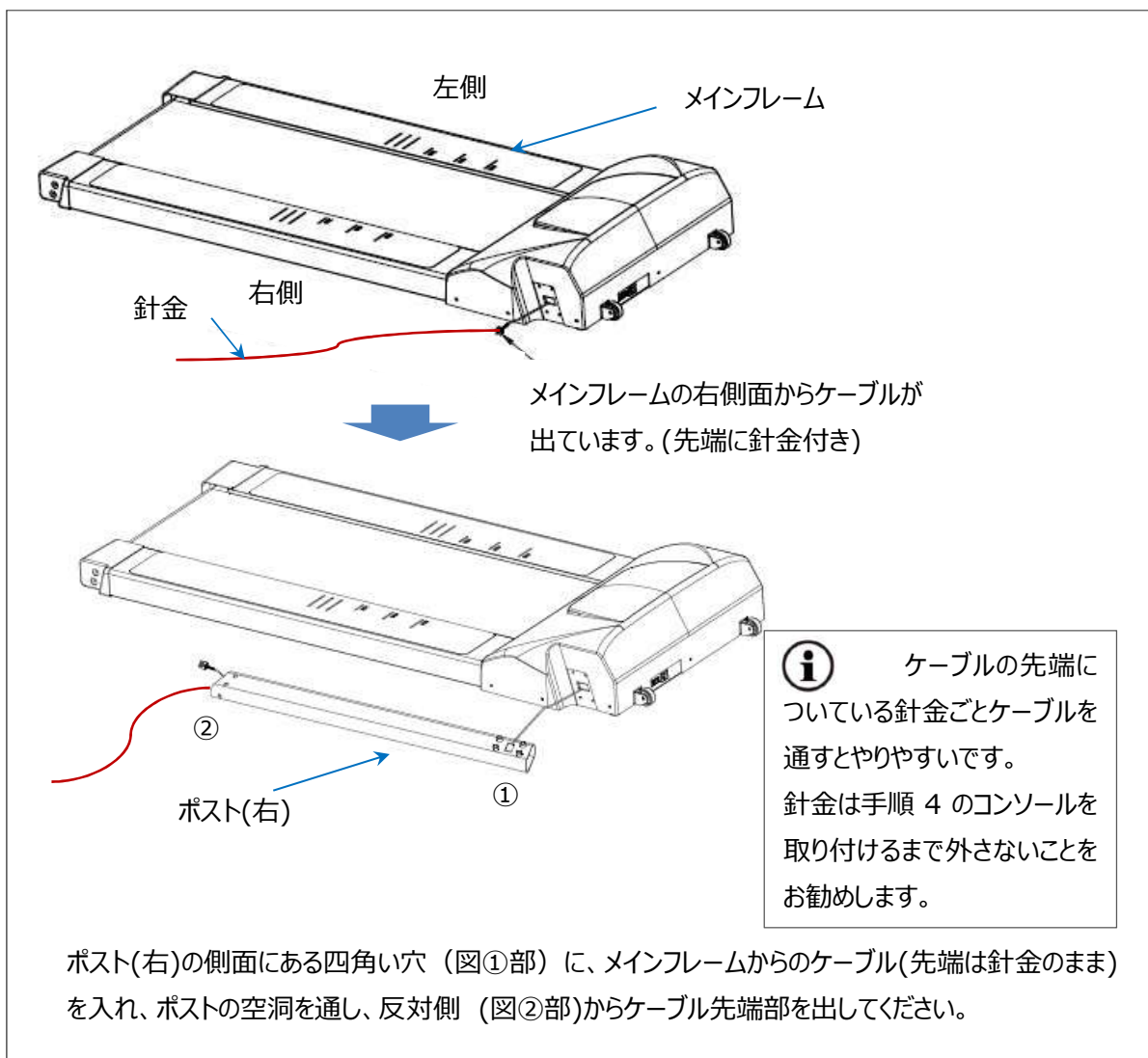


5. 組立方法

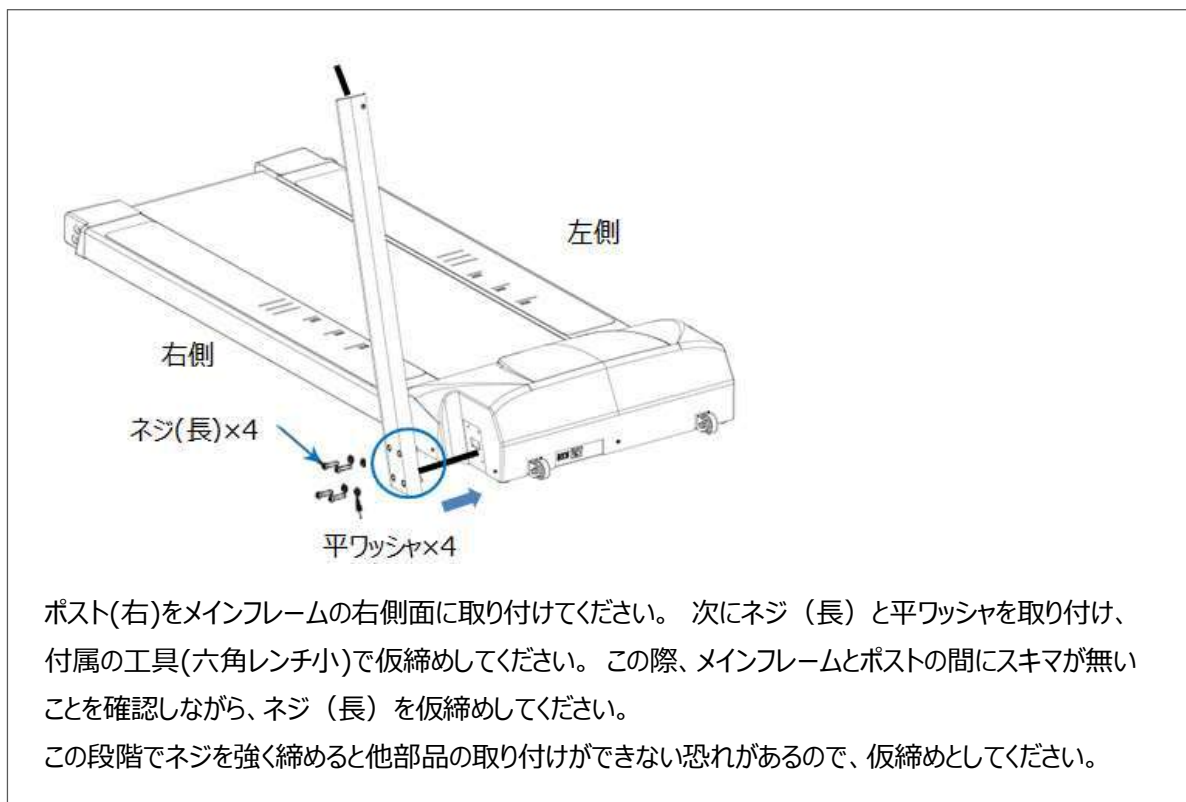


組立にあたり、下記の手順どおりに正しく行ってください。手順どおりに組立をしない場合や、指定以外のねじを使用すると、使用中にねじが外れるなど大変危険です。また故障の原因となります。組立は二人以上で行うことを推奨します。

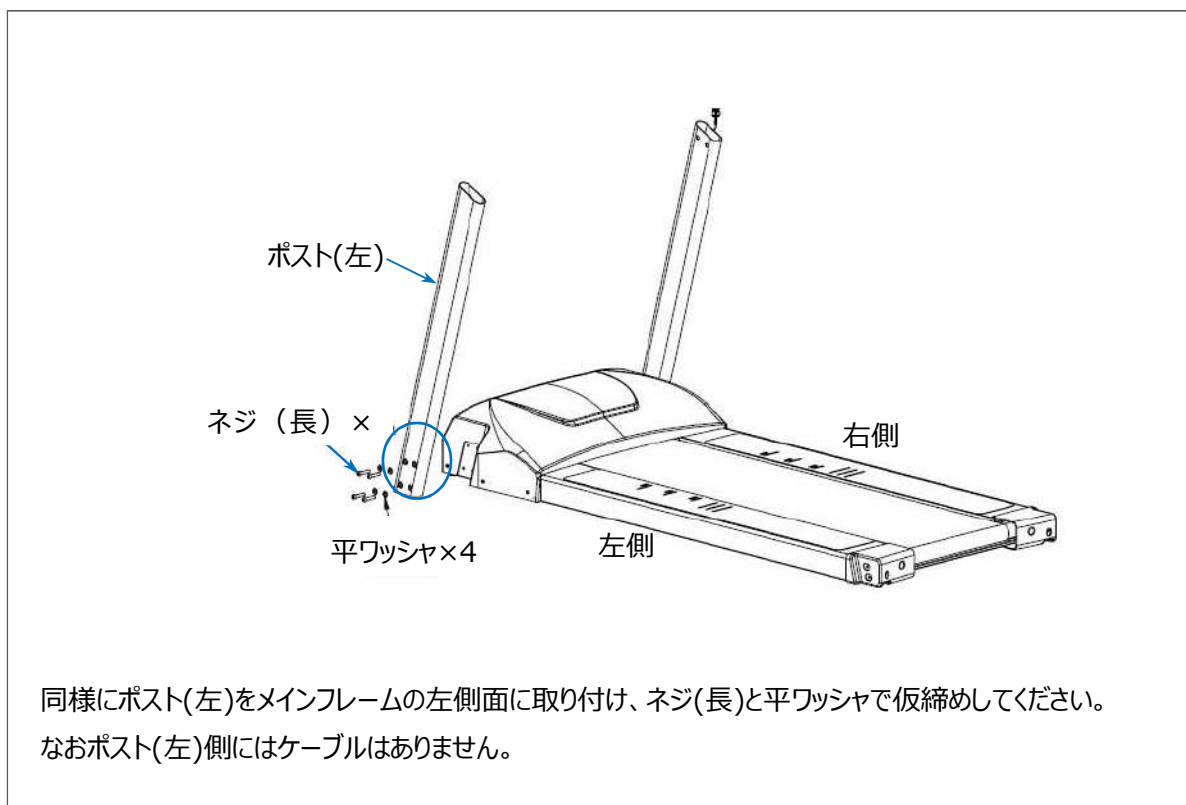
◆手順1 <ケーブル通し作業>



◆手順2 <ポスト(右)取り付け>



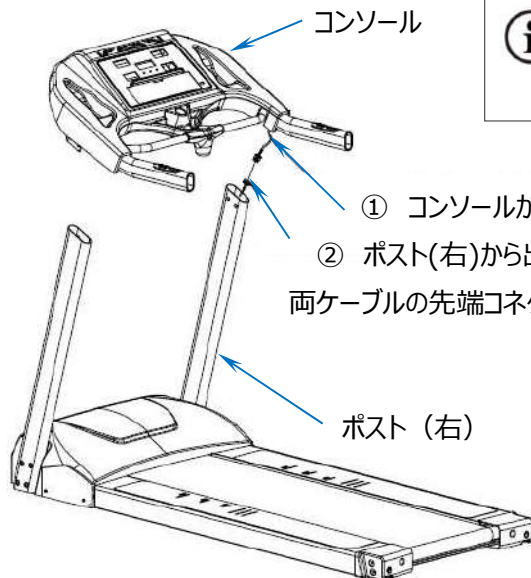
◆手順3 <ポスト(左)取り付け>



◆手順 4 <コンソールのケーブル接続>



二人作業を推奨します。1人がコンソールを抱え、もう一人がケーブルを接続します。



- ① コンソールから出ているケーブル
 - ② ポスト(右)から出ているケーブル
- 両ケーブルの先端コネクタどうしを接続する。



ケーブル先端についていた針金は取り外してください。



注意

コネクタはしっかりと
はめ込んでください。



コンソールを抱え、ポストの近くに持ってきます。

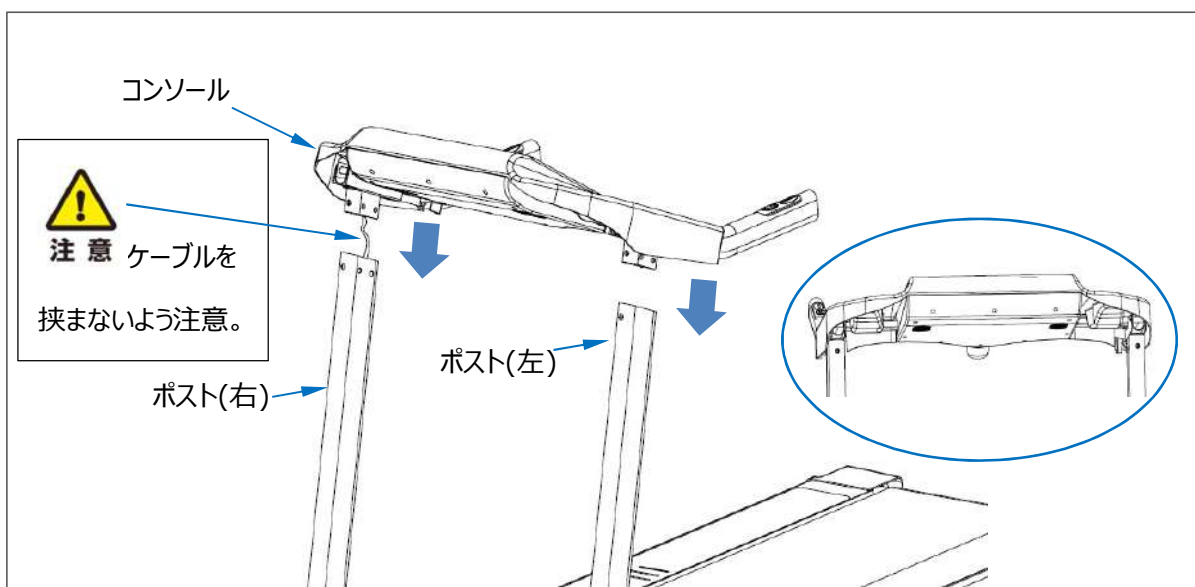
次にコンソールから出ているケーブル（図①部）先端コネクタと、ポスト（右）から出ているケーブル（図②部）の先端コネクタを接続します。コネクタは手でしっかりと奥まで入れてください。

隙間があると使用中に外れてしまう恐れがあります。

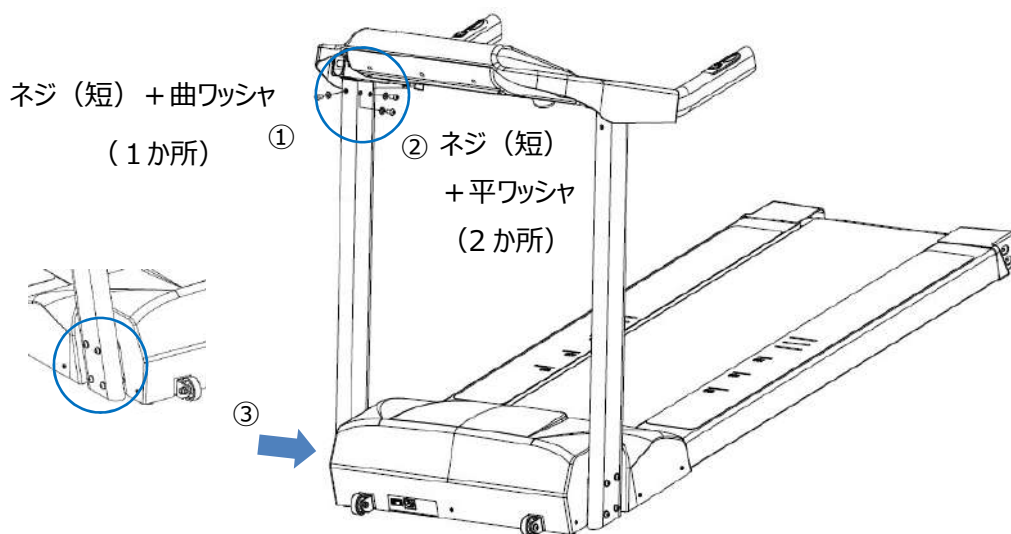


コネクタ接続後、コネクタ部分はポスト（右）に押し込んでください。

◆手順 5 <コンソール取り付け>



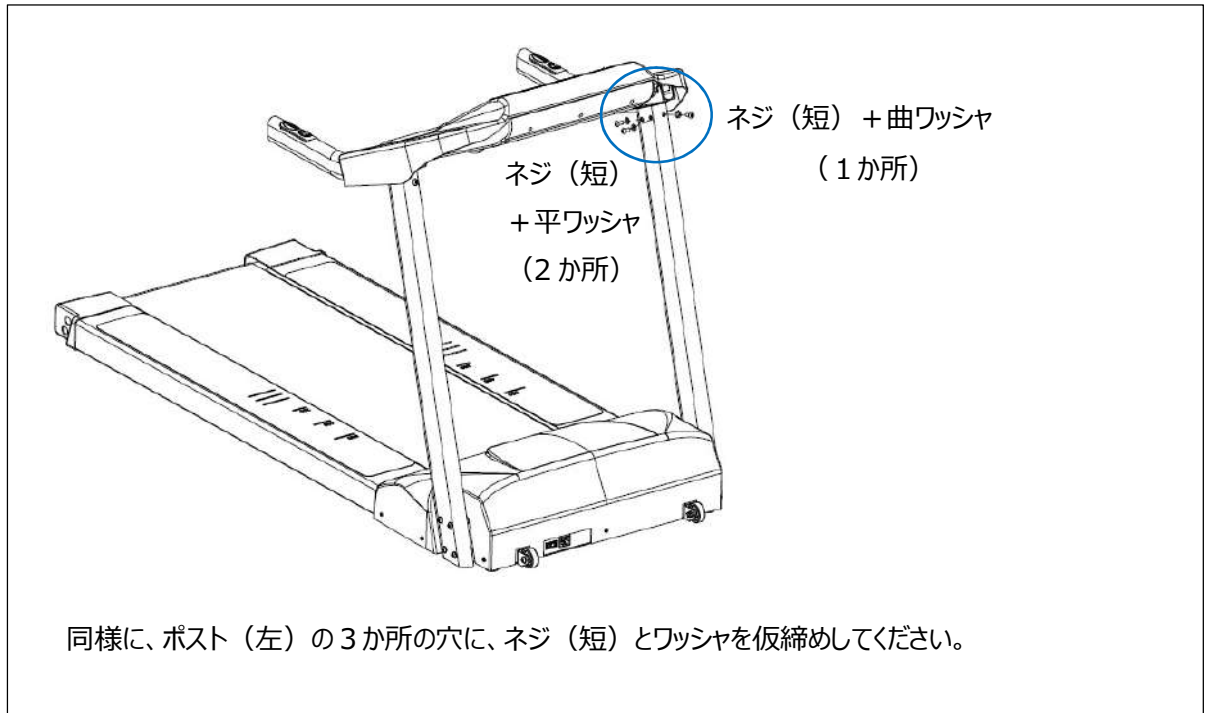
コンソールを、ポスト（右）とポスト（左）に差し込んでください。
ケーブルを挟まない様に注意しながら、奥までしっかりと押し込んでください。



ポスト（右）の前面（湾曲部分：図①部）の1か所の穴にネジ小と曲ワッシャを仮締めし、側面の2か所の穴（図②部）に、ネジ（短）と平ワッシャを仮締めしてください

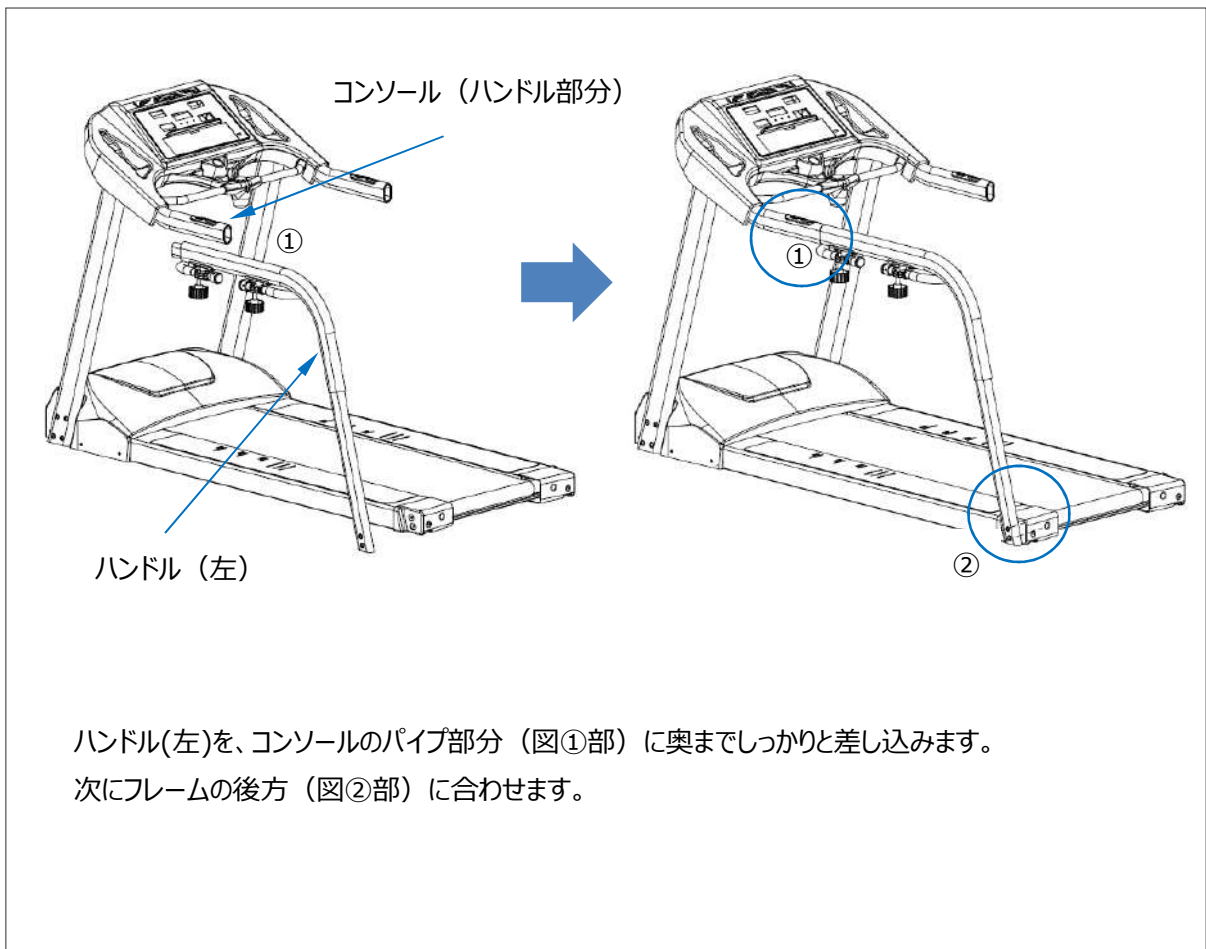


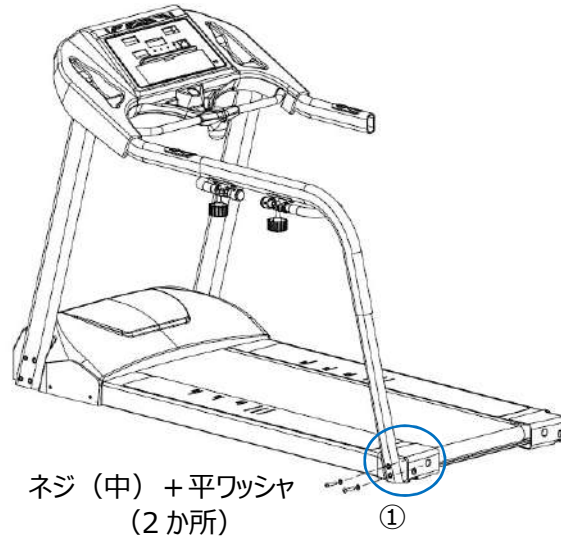
ネジがうまく入らない場合、ポストとメインフレームのネジ（4か所）が仮締めになっているか確認してください（図③部）。きつく締まっている場合はネジ穴の位置がずれている可能性があります。



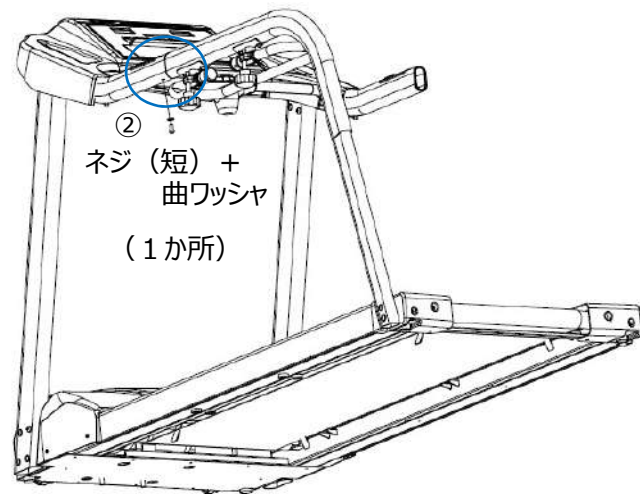
◆手順6 <ハンドル (左) 取り付け>

なおハンドル(右)から先に取り付けることもできます。(手順7)





ハンドル（左）とフレームを、ネジ（中）と平ワッシャで仮締めしてください。（図①部 2か所）



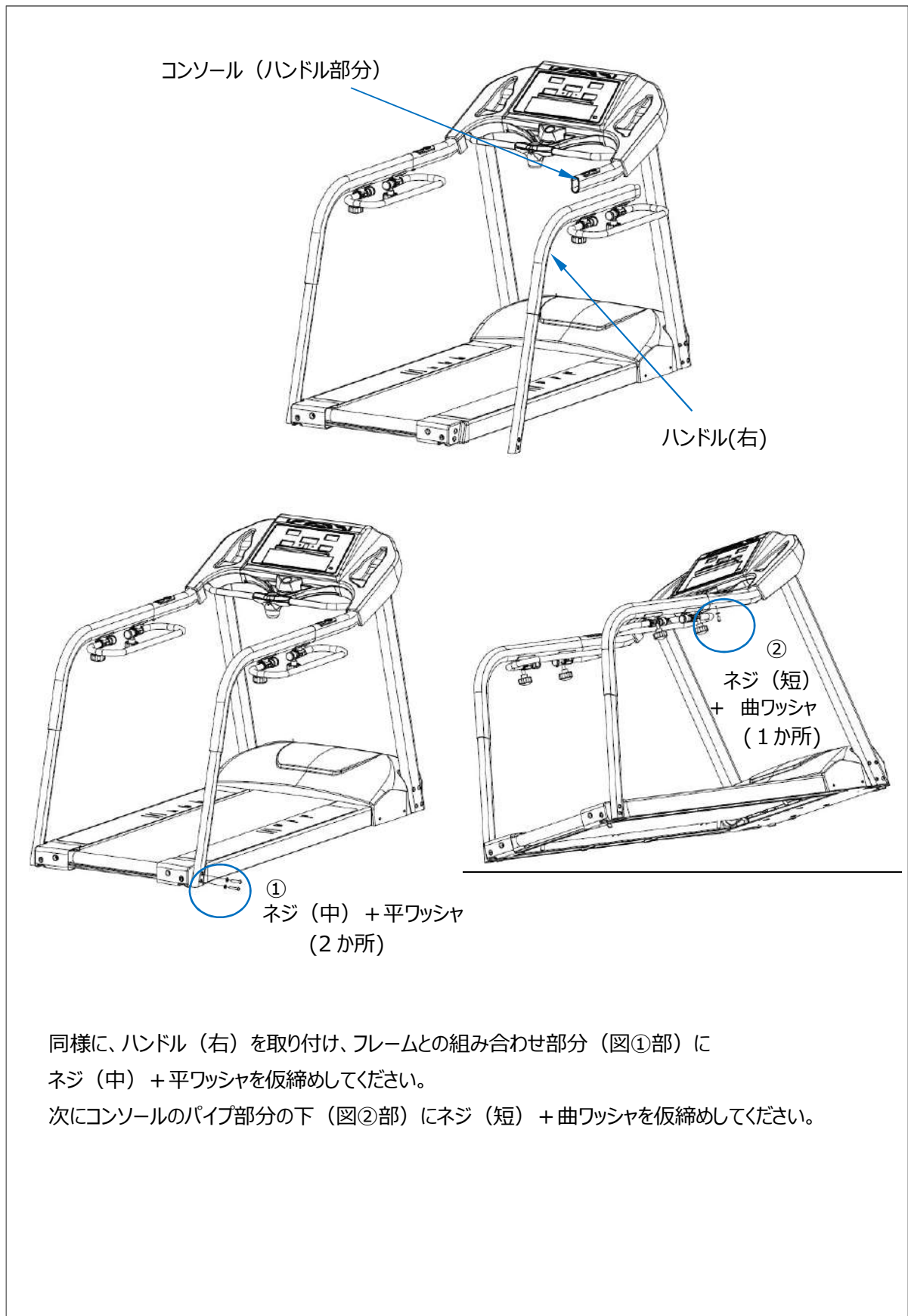
コンソールのパイプ部分の下側（裏側）に、ネジ（短） + 曲ワッシャを仮締めしてください。
（図②部 1か所）



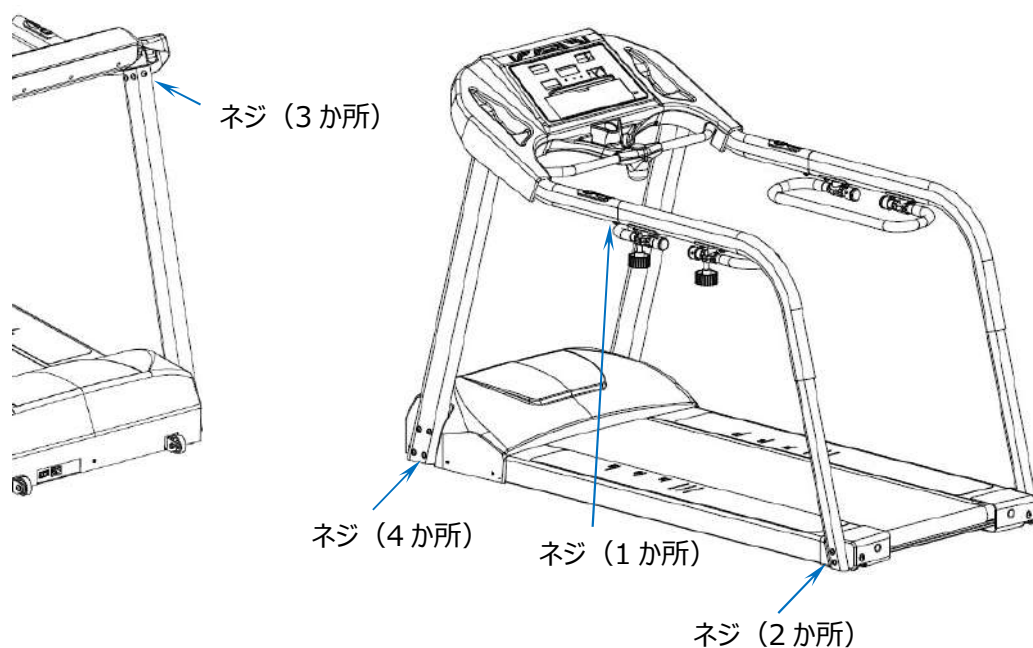
注意

作業がしづらい位置ですので、頭をぶつけないように注意してください。

◆手順7 <ハンドル(右) 取り付け>



◆手順8 <ネジの本締め>



仮締めしていた全てのネジをしっかりと締め付けてください。
ネジは 片側 10 か所あり、両側で合計 20 か所あります。

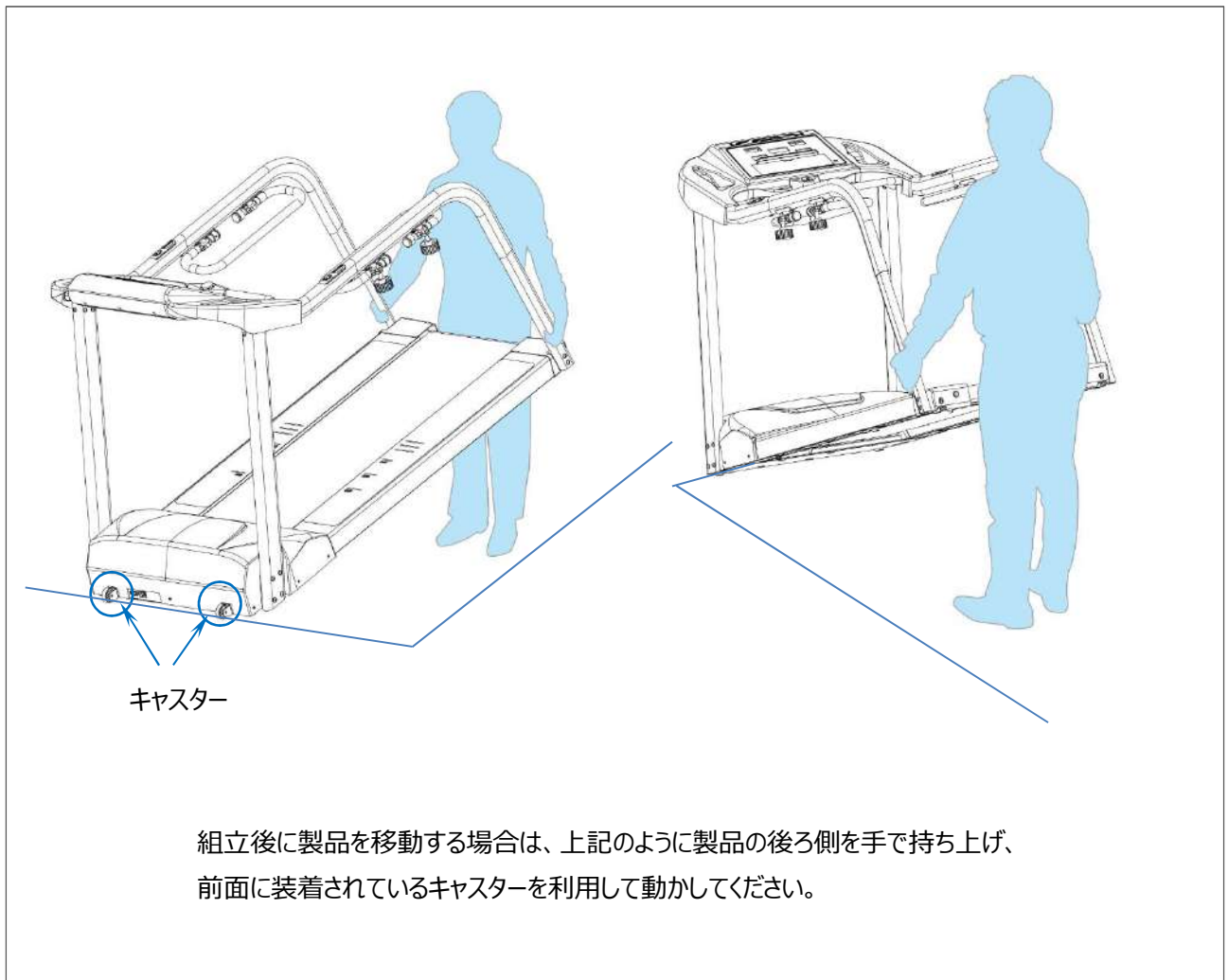


ネジは不足することなく締めてください。またしっかりと締め付けてください。
締め付け不足の場合、機器の破損や使用中のケガにつながりますので、
必ず確認をしてください。

またこの確認は定期的実施してください。

『8-2. 日常の点検とお手入れ』(P34) を参照してください。

6. 移動方法



注意

持ち上げる際、腰などを痛めないように注意願います。
また手や足を挟まないように注意願います。



無理せずに二人以上の作業を推奨します。

7. 使用方法

7-1. 使用前の設置

◆設置の調整

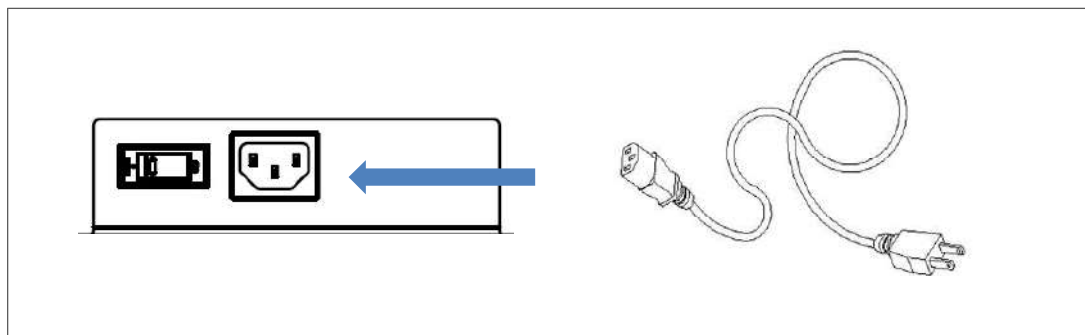
製品は水平な場所に設置をしてください。それでも本体ががたつく場合には下記のようにメインフレームの裏側の調整脚（各コーナー、計4か所あります）を回してがたつきが無くなるように高さ調整してください。



メインフレームのコーナー部分を持ち上げる際、製品が重いので十分注意願います。
二人で作業することを推奨します。

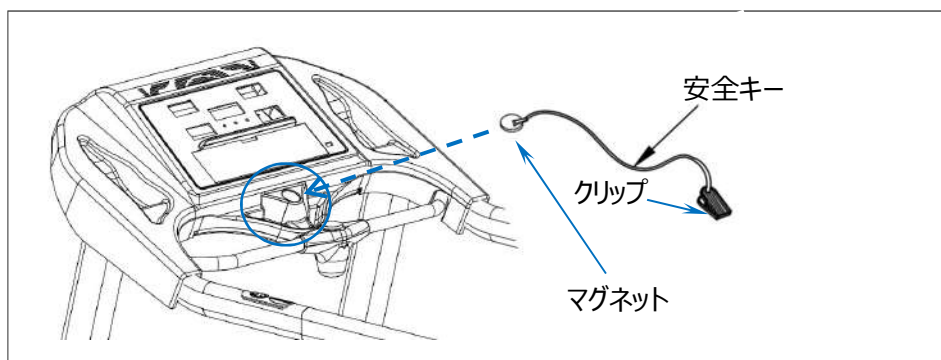
◆電源ケーブルの取り付け

付属の電源ケーブルをメインフレーム前面部の電源コネクタにしっかり差し込みます。
次に電源ケーブルのプラグ側をコンセントに差し込んでください。



◆安全キーの本体への取り付け

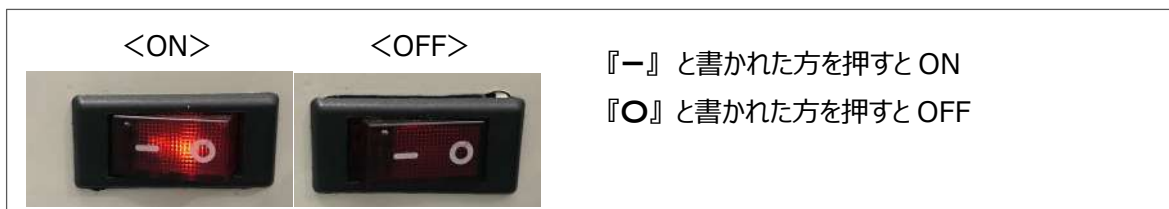
付属の安全キーは、下記のように片側はマグネット、片側はクリップになっています。
コンソールの下記部分に安全キーのマグネットを置いてください（コンソールにくっきます）。
クリップ側は服の腰のあたりに取り付けて下さい。



7-2. 使用前の準備

◆電源スイッチを ON

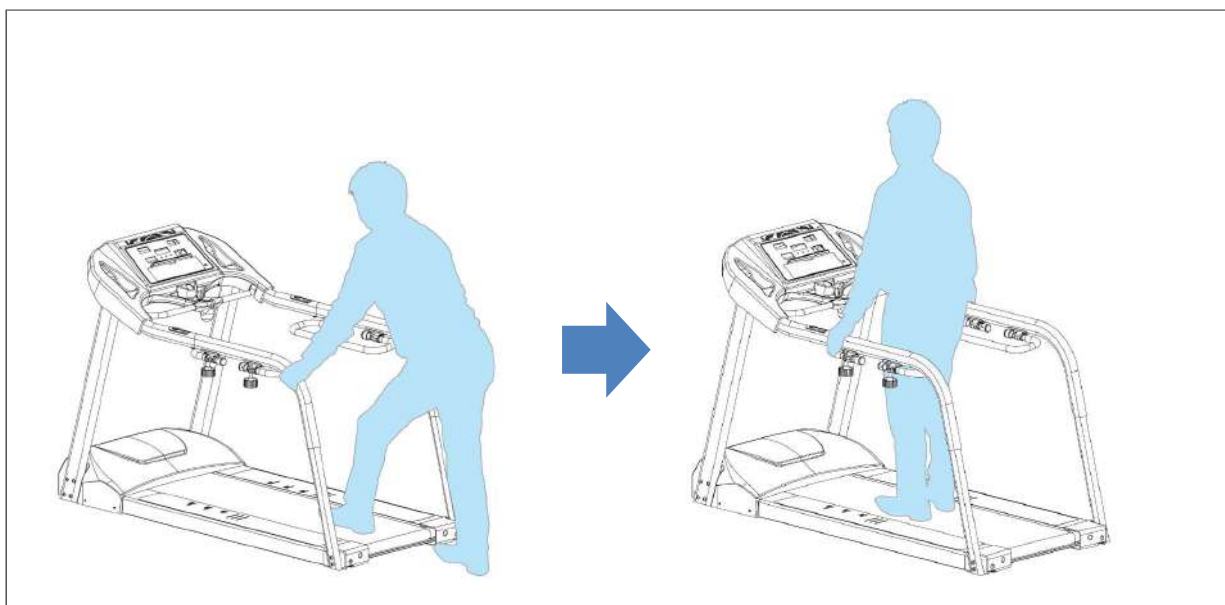
機器前方の下部にある スイッチを押して ON にしてください。ON になると、スイッチが赤く光ります。またコンソールの表示類が表示され、同時にブザーが 『ピ』と鳴ります。



◆機器への乗り込み



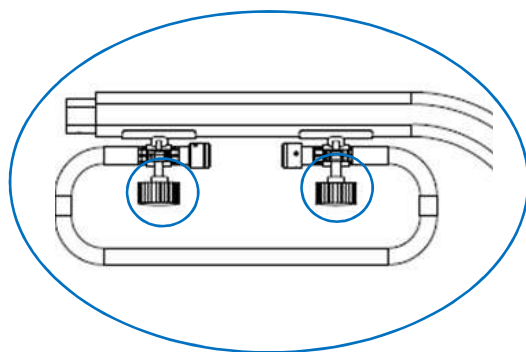
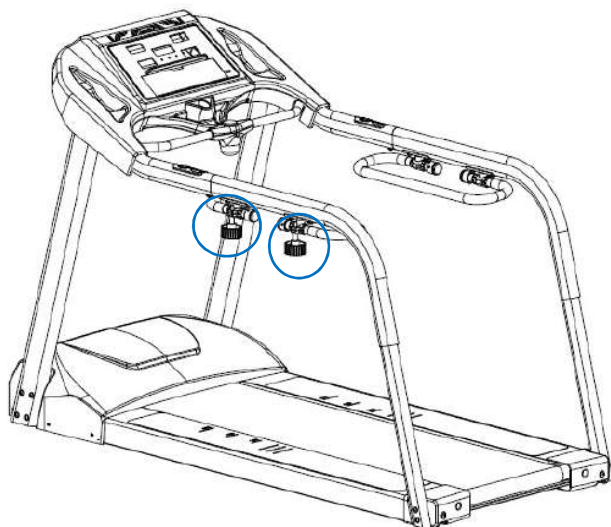
ランニングベルトが動いていないことを必ず確認してください。
動いている時に乗り込むと大変危険ですので絶対にお止めください。
ハンドルを両手でつかみ、後ろから乗り込んでください。
乗り込んだら中央部まで前進して待機してください。



本機器は低床ではありますが、乗り込む際につまずかないように注意願います。

◆アディショナルハンドルの調整

アディショナルハンドルは、使用される方の身体に合わせてお使いいただく補助のハンドルになります。



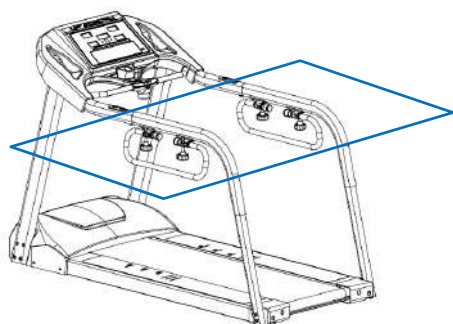
アディショナルハンドルについている調整ノブを緩め（反時計回り）、アディショナルハンドルの高さを任意に調整し、高さが決まったら再度調整ノブを締めてください（時計回り）。



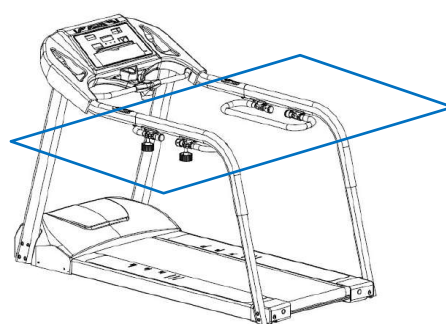
注意

調整ノブはしっかりと締めてください。

緩みがあるとアディショナルハンドルに体重をかけた際にハンドルが下がって大変危険です。

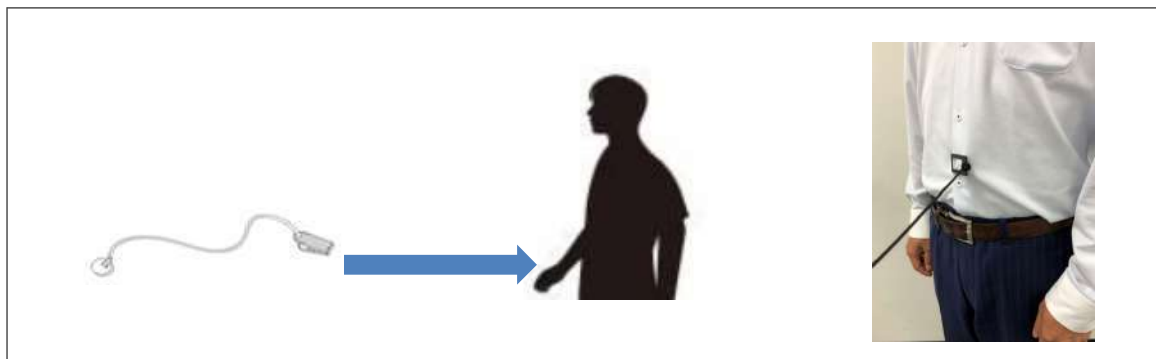


アディショナルハンドルを使わない例



アディショナルハンドルを上げた例

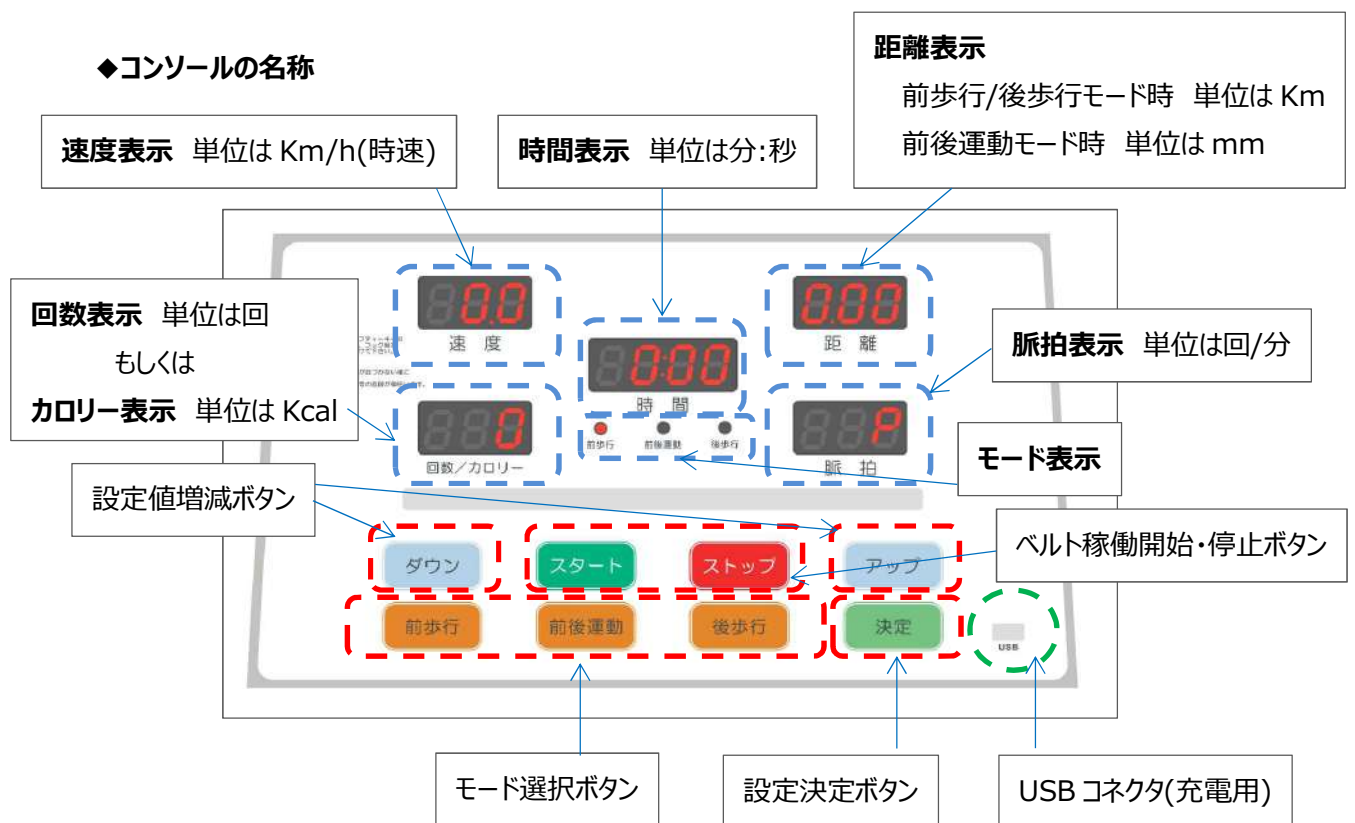
◆安全キーの装着



安全キーのクリップは、腰の高さあたりの衣服に装着してください。

7-3. 操作方法

◆コンソールの名称



◆基本的な操作

本製品は、下記 3 つの運動モードを備えています。


前歩行

後歩行

前後運動

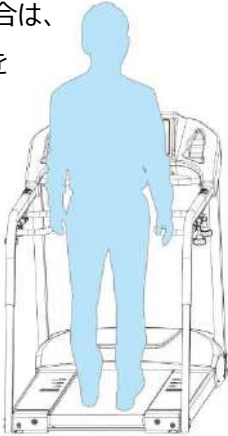
以下に基本的な操作方法を説明します。

(1) 前歩行・後歩行モード

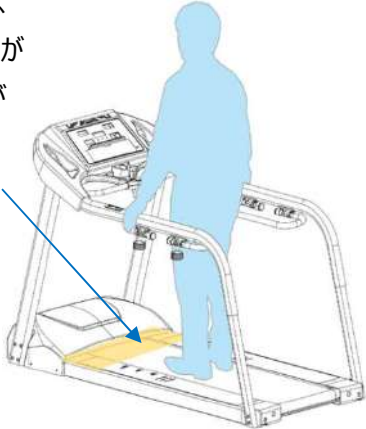

注意

このモードの時は、両足でベルトの上に乗る、歩行運動を行います。

手すりを持ちにくい場合は、アディショナルハンドルをお使い下さい。



後歩行モードの際、モーターカバーに足が接触する可能性が御座いますので、このエリアに足を置かない様にご注意ください。





① モードの選択

前歩行 ボタン、もしくは **後歩行** ボタンを押します。


【表示】

<モード表示>


もしくは


前歩行 前後運動 後歩行 前歩行 前後運動 後歩行

<時間表示>


数字は点滅します。

時間

② タイマー設定

タイマーはベルト稼働時間のことで、1分～60分まで1分単位で設定できます。指定した時間に達するとベルトが停止します。なおこの操作を行わないで次ステップ(③)に進むと、稼働時間は無制限となります。

設定時間を増加させる時は **アップ** ボタンを押します。

設定時間を減少させる時は **ダウン** ボタンを押します。

【表示】

<時間表示> 1分から60分の範囲で、1分単位で増減



③ ベルトの稼働スタート

スタート

ボタンを押すと、3秒後にベルトが動き出します。

【表示】

<時間表示>

下記のようなカウントダウンになり同時に音が鳴ります。



なお、カウントダウン最後の時間表示は、タイマー設定した場合は、その時間が表示されます。

続いてタイマーが動き出し、時間表示が1秒ずつ減少します。

【例】②のステップで10分に設定した場合。



もしタイマー設定をしていない場合は、時間表示は運動開始からの経過時間となり、1秒ずつ増加します。

【例】②のステップでタイマー設定をしていない場合。



<速度表示>

この時の速度表示は最低速度の時速0.2Kmとなります。



④ ベルト速度の設定

アップ もしくは **ダウン** ボタンを押し、任意の速度に設定してください。

なお速度は前歩行モードで時速 0.2Km～8.0Km の範囲、後歩行モードで時速 0.2Km～2.0Km の範囲で、0.1Km/時ずつ変更できます。

【表示】

<速度表示>

前歩行モードの場合

0.2

速度

～

8.0

速度

後歩行モードの場合

0.2

速度

～

2.0

速度

ベルトの速さは設定した速度に合わせて徐々に変化します。



注意

急激に速度を変えると、運動されている方がついていけず、転倒の恐れがあります。
状態をみながら、少しずつ速度を変更するようにしてください。

なおこの時に消費カロリー（単位：Kcal）が表示されます。

この値は、ベルトの稼働状況で簡易的に算出したものですので、あくまでも参考としてお使いください。

また運動開始からの走行距離（単位：Km）が表示されます。

【表示】

<回数／カロリー表示>

【例】下記表示は 5Kcal 消費

5

回数／カロリー速度

<距離表示>

【例】下記表示は 0.01Km すなわち 10m となります。

0.01

距離

⑤ ベルトの稼働 一時停止

ストップ ボタンを押すと、ベルトが一時停止します。

もしくは タイマーがゼロに達した時は、同様に一時停止します。

一時停止のため、再度 **スタート** ボタンを押すと元の速度とタイマーの残り時間で再稼働します。

⑥ 全てのモード リセット

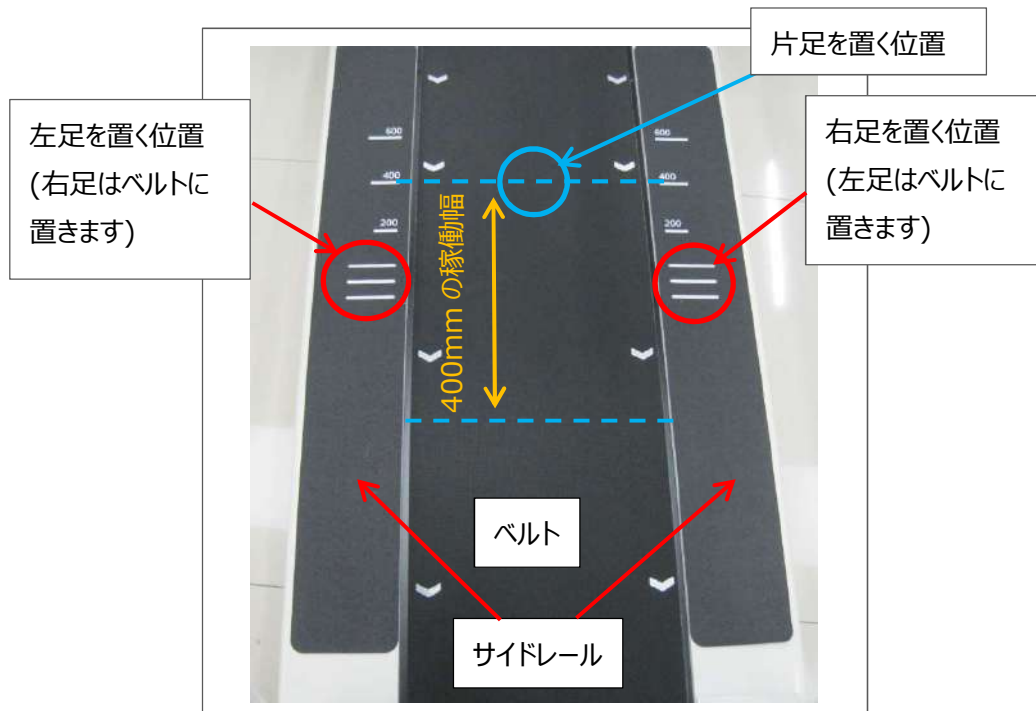
再度 **ストップ** ボタンを押すと、設定が初期状態に戻ります。

(2) 前後運動モード

i このモードの時は、片足をサイドレールに乗せ、もう片方の足をベルトの上に乗せて運動を行います。

運動される方は、サイドレールの中央部に表示されている 3 本線の上に片足を乗せてください。
そしてもう一方の片足(運動する方の足)をベルトの上に乗せますが、その位置は下記で設定する
ベルト稼働幅の数値に合わせてください。

【例】ベルト稼働幅を400に設定する場合、サイドレールに印字された数字の400辺りのベルトに片足を乗せてください。(400の表示は実際には3本線より200mm前方の位置にあり、この表示のところから後方へ400mmベルトが下がり、再び前方に400mmベルトが上がるという往復を繰り返します。)

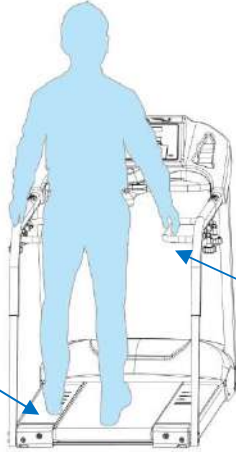




正しい位置に足を置かないと、ベルトが前に動いたときに、足をカバーにぶつけてしまう恐れがあります。
また足の位置は運動中に変更しないよう注意願います。
足を離して再度ベルトの上に置くようなことはお止め下さい。

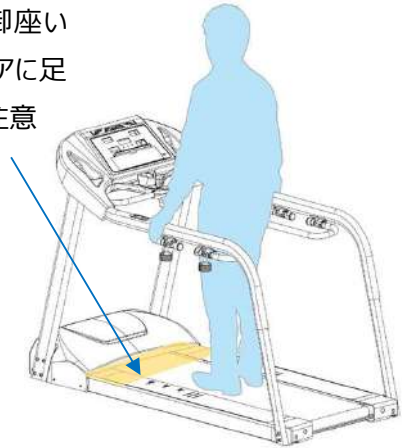


片足をサイドレールの3本線の上に乗せ、もう片足をベルト面に乗せて運動を行ってください。



モーターカバーに足が接触する可能性が御座いますので、このエリアに足を置かない様にご注意ください。

手すりを持ちにくい場合は、アディショナルハンドルをお使い下さい。



① モードの選択

前後運動 ボタンを押します。

【表示】

<モード表示>



<距離表示>

400
距離

数字は点滅します。

② ベルト稼働幅の設定

ベルト稼働幅とは、ベルトが前に動く時の稼働範囲（同じく後ろに動く時の稼働範囲）を長さ（単位はmm）で表したものです。ベルト稼働幅は600mm～200mmで、10mm毎に設定できます。初期値は400mmに設定されています。

ベルト稼働幅を増加させる時は **アップ** ボタンを押します。

ベルト稼働幅を減少させる時は **ダウン** ボタンを押します。

【表示】

<距離表示> 【例】400mm から 2 回ダウンボタンを押して 380mm にする



この時点ではまだ決定されていません。 次の③のステップで決定します。

③ ベルト稼働幅の決定

決定

ボタンを押すと、②で設定したベルト稼働幅に決定します。

④ ベルト速度の設定

アップ

ボタン もしくは

ダウン

ボタンを押し、任意の速度に設定してください。

なお速度は 時速 0.2Km～1.5Km の範囲で、0.1Km ずつ変更できます。

【表示】

<速度表示>



この時点ではまだ決定されていません。 次の⑤のステップで決定します。

⑤ ベルト速度の決定

決定

ボタンを押すと、④で設定したベルト稼働幅に決定します。

⑥ タイマー設定

タイマーはベルト稼働時間のことで、1分～60分まで1分単位で設定できます。

指定した時間に達するとベルトが停止します。

なおこの操作を行わないでステップ⑧（START ボタンを押す）に進むと、稼働時間は無制限となります。


設定時間を増加させる時は **アップ** ボタンを押します。

設定時間を減少させる時は **ダウン** ボタンを押します。

【表示】

<時間表示> 1分から60分の範囲で、1分単位で増減します




 この時点ではまだ決定されていません。 次の⑦のステップで決定します。

⑦ タイマーの決定

決定 ボタンを押すと、⑥で設定したタイマーに決定します。

⑧ ベルトの稼働スタート

 ベルト稼働をスタートする前に、足の置く位置が正しいか、再度ご確認ください。
ベルト稼働幅を400mmに設定した場合は、400という表示位置に、
ベルト稼働幅を300mmに設定した場合は、400と200の表示の中間の位置に、
運動させる足を置いてください。運動しない側の足は3本線の位置に足を置いてください。



注意

正しい位置に足を置かないと、ベルトが前に動いたときに、足をカバーにぶつけてしまう恐れがあります。

また足の位置は運動中に変更しないよう注意願います。

足を離して再度ベルトの上に置くようなことはお止め下さい。

スタート ボタンを押すと、3秒後にベルトが動き出します。

【表示】

<時間表示>

下記のようなカウントダウンになり同時に音が鳴ります。



なお、カウントダウン最後の時間表示は、タイマー設定した場合は、その時間が表示されます。

続いてタイマーが動き出し、時間表示が1秒ずつ減少します。

【例】⑥⑦のステップで10分に設定した場合。



【表示】

<時間表示>

もしタイマー設定をしていない場合は、時間表示は運動開始からの経過時間となり、1秒ずつ増加します。

【例】⑥⑦のステップでタイマー設定をしていない場合。



<速度表示>

④⑤のステップで決定した速度が表示されます。

【例】時速0.2Kmの場合。



<回数/カロリー表示>

前後運動の回数が表示されます。ベルトが前後1往復すると

1回とカウントされます。（前後運動モードの時はカロリー表示ではありません）

【例】5回の時。



なお上記手順で、①のステップの後に、すぐに⑧のステップの操作をすることができます。

つまり **前後運動** ボタンを押した後で **スタート** ボタンを押した場合、ベルト稼働幅は 400mm、速度 0.2Km/時、タイマー無しの設定でベルトが動き出します。また稼働途中で速度を変更することができますが、速度が切り替わるのは、ベルトが原点に戻った時点からとなります。（ベルトが後ろまで下がり、次に前まで上がりきったところが原点です）

⑨ ベルトの稼働 一時停止

ストップ ボタンを押すと、ベルトが一時停止します。

ただしベルトは原点に戻った時点で停止しますので、タイミングによってはベルトがすぐには止まらずに、最大一往復してから停止します。

もしくは タイマーがゼロに達した時は、同様に一時停止します。

一時停止のため、再度 **スタート** ボタンを押すと元の速度とタイマーの残り時間で再稼働します。

⑩ 全てのモード リセット

再度 **ストップ** ボタンを押すと、設定が初期状態に戻ります。

(3) 停止操作



この停止操作は大変重要ですのでよくお読みください。

タイマーによる停止を除き、ベルト稼働を停止する方法（もしくは停止する状況）には、下記の4つの方法があります。

- ・通常操作による停止
- ・緊急停止ボタンを押した時の停止
- ・安全キーが作動した時の停止
- ・ハンドル(左)にある START/STOP ボタンの STOP を押した時

1. 通常操作による停止

稼働中に **ストップ** ボタンを押すとベルトは停止します。

詳細については『7-3. 操作方法』の『(1)前歩行・後歩行モード』と『(2)前後運動モード』（P19～P27）の項目を参照してください。

2. 緊急停止ボタンを押した時の停止

緊急ボタンは、コンソールに手前に設置されています。

ベルトの稼働中に緊急停止させたい場合は、このボタンを押してください。

なおボタンは押されると押し込まれた状態で保持されます。

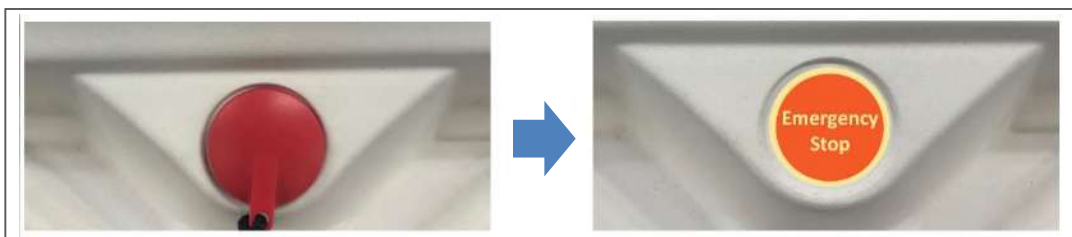


緊急停止ボタンを解除するには、ボタンを右回り(ボタン表面に書かれた矢印の方向)に回すと、押し込まれたボタンが解除されて元に戻ります。

(注意) 通常の使用での停止に緊急ボタンで停止することはおやめ下さい。

3. 安全キーが作動した場合の停止

安全キーのマグネットが外れるとベルトは停止します。



これは運動をしている人の衣服につけた安全キーが後ろ側に引っ張られる時にマグネットが外れる仕組みで、前歩行運動をしている方が本機後部からの落下を防ぐほか、運動している方が転倒などした際にベルト稼働を停止させるものです。

解除については、再度安全キーのマグネットを元の位置まで戻してください。

注意) 通常の使用での停止に安全キーで停止することはおやめ下さい。

4. ハンドル(左)にある STOP ボタンを用いた停止

詳細は 次項 『(4)ハンドル部にあるボタンの操作』(P30) の項目を参照してください。

(4) ハンドル部ボタン操作

ハンドル部に操作ボタンがあり、これを使って各種操作することができます。
これは主に運動している人自身が操作を行います。



お客様の要望により、この機能を出荷時に切断している機器もありますので、
詳しくは管理者の方にご確認をお願いします。

1. ハンドル（左）にある START/STOP ボタン



これはコンソールにある、

スタート

ストップ

と同じ機能となります。

2. ハンドル（右）にある SPEED +ボタン -ボタン



これはコンソールにある、

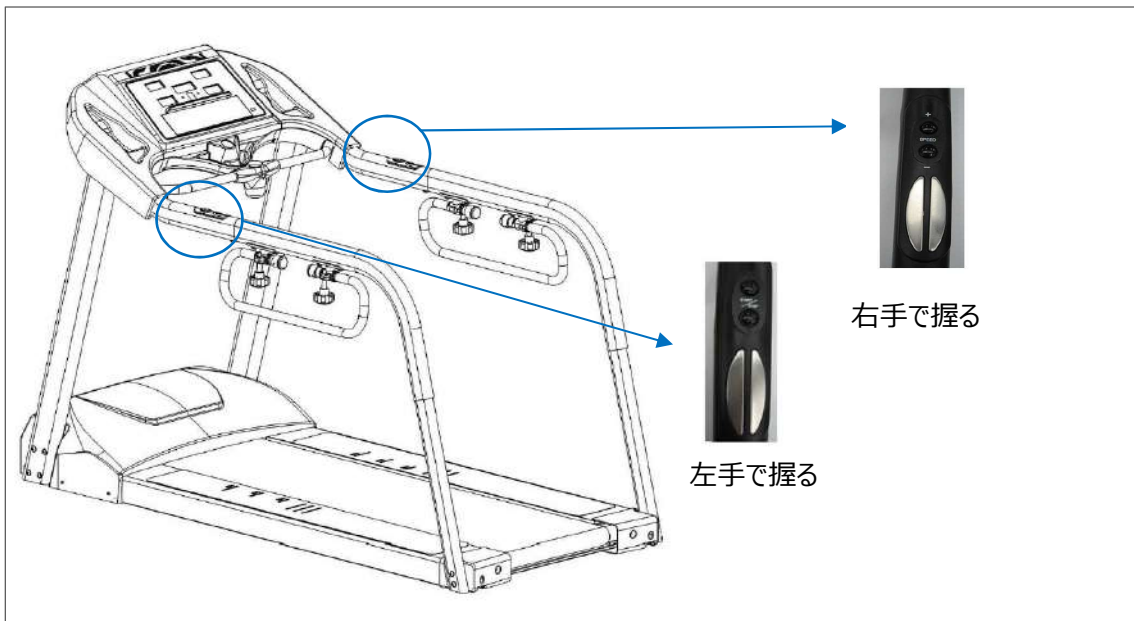
アップ

ダウン

と同じ機能となります。

(5) グリップセンサーの使い方

本機器には、グリップを握るだけで簡単に脈拍が計測できるセンサーが装着されています。
左右のハンドルに設けられたセンサー部（銀色の金属部分）を、左右両方の手で握ってください。



【表示】

<脈拍表示>

【例】下記の表示は、脈拍 75 回/分 となります。

75
脈拍

もし P と表示されている場合は、計測が出来ていない状態です。

P
脈拍



注意

計測データは、あくまで簡易的に計測したものであり、精密な値ではありません。
あくまで目安としてお使いください。またグリップした直後は数値が安定しませんので、しばらくしてから値を参考としてください。
なおこのデータを使って発生した、いかなる事故につきましては、
当社での責任は負いませんのでご注意ください。



手の乾燥などで計測出来ない場合がございます。その時は霧吹きなどで手を湿らせて下さい。

8. メンテナンス

8-1. ランニングベルトの調整

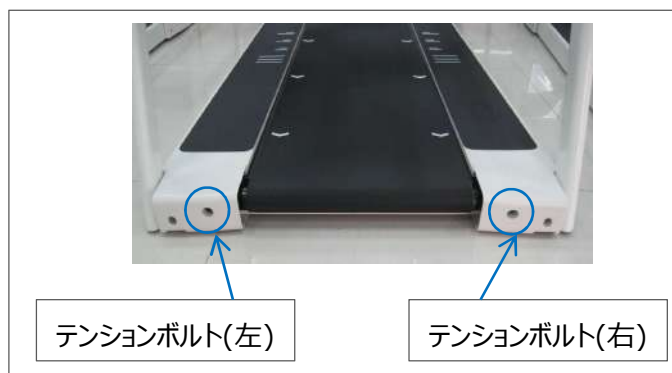


注意

ランニングベルトの調整は重要です。正しい方法で調整をしてください。
調整が悪いとベルトから異音が出たり、ベルトを痛めるなど、故障につながります。
調整作業の際は、ベルトに巻き込まれたりしない様に細心の注意をしてください。

◆ センタリング調整

- ① 前歩行モードで、速度 2 km/h で中心に来るように合わせ、その後 5km/h くらいで張りを調整します。
- ② エンドキャップ（下記参照）のテンションボルトを回す（目安 1/4 回転）ことでセンタリング調整ができます。この際、付属の六角レンチ大（公称 6mm）をお使いください。

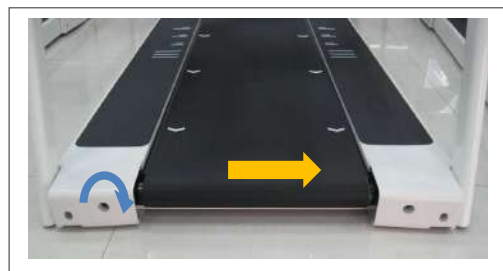


ベルトが右にずれている場合（ベルトを左側にずらしたい場合）



テンションボルト(右)
を少しずつ右回転に回してください

ベルトが左にずれている場合（ベルトを右側にずらしたい場合）



テンションボルト(左)
を少しずつ右回転に回してください

◆ 張り具合調整（ベルトを張る/緩める）

- ① 電源は必ず OFF の状態にしてください。
- ② エンドキャップのテンションボルトを左右両方回すことでベルト張り具合の調整ができます。
この際、付属の六角レンチ大（公称 6mm）をお使いください。
注意）テンションボルトを一気に回しすぎ無いようにしてください。

ベルトを張りたい場合（張りを強くしたい場合）



テンションボルト(左)と(右)の両方を、
交互に同じ量を右回転に回して
ください。（回転目安：約 1/4）

ベルトを緩めたい場合（張りを弱くしたい場合）



テンションボルト(左)と(右)の両方を、
交互に同じ量を左回転に回して
ください。（回転目安：約 1/4）

- ③ 再度電源を入れ、ベルトを稼働させて張り具合を確認してください。
歩行中にベルトはが滑るような感覚が無くなっていれば張りは問題ありません。



8-2. 日常点検とお手入れ

◆ 使用前

- ① 電源を入れベルトを稼働させ、異常な音やベルトが滑るような感覚がないか確認してください。
いつもと違うような感じであれば、前章のベルトの調整をしてください。

◆ 使用后

- ① ご使用后、コンソール、ハンドル、ベルトなどの汚れが有る場合は、固く絞った布で水拭きをしてください。
- ② ベルト上、もしくはベルトのスキマにほこりやゴミが有る場合は、掃除機などで取り除いてください。



ベルトの下にほこりやゴミが入り込むと、ベルトがスムーズに稼働しなくなります。

◆ 定期点検（目安 6 か月ごと）

- ① ネジの緩みが無いか確認してください。緩みがある場合はしっかりと締めてください。
ネジの場所は『◆手順 8 <ネジの本締め>』（P13）を参照してください。
- ② ランニングベルトの下の板（ランニングボード）にシリコンオイルを塗布してください。
方法は下記を参照してください。
 - ・電源は必ずきってください。
 - ・ベルトの張りを緩め、ランニングベルトとランニングボードに手が入るくらいにしてください。
 - ・シリコンオイル（付属品）をランニングボードの上にまんべんなく薄く塗り、乾いた布で乾拭きしてください。
もしくはスプレータイプのシリコンオイルをベルト下に吹きかけ、その後に布でまんべんなく乾拭きを行ってください。
 - ・その後ベルトを張り、電源を入れてベルトを時速 5Km 程度で稼働させて 5 分程度ならし運転をしてください。



付属のシリコンオイルは、開封時に口をはさみ等で切る必要が御座います。
その際に口を大きく切るとシリコンオイルが出すぎる為、小さく切る様にして下さい。

シリコンオイルを塗布する際は手に付着する恐れが御座いますので、手袋の着用をお勧めします。

付属のシリコンオイルが無くなりましたら、市販のトレッドミル用シリコンオイル、若しくはシリコンスプレーをご購入頂き、ご使用ください。（インターネット等で簡単にお求め頂けます。）

9. Q&A

◆ 故障かなと思ったら、下記を参考にしてください

1. 電源が入らない、コンソールの表示が点灯しない
 - 電源コードがコンセントに入っているか確認してください (P16)
 - 電源スイッチが ON になっているか確認してください (P16)
2. ベルトが動くときに異音がある、ガタガタ振動する。
 - ベルトが左右にずれていないか確認し、ずれていたらセンタリング調整をしてください (P32)
 - ベルトの張り具合を調整してください (P33)
 - ベルトの下にゴミやホコリがあれば清掃してください
 - シリコンオイルをランニングボードにまんべんなく薄く塗ってください (P34)
3. ベルトが滑った感じになる
 - ベルトの張り具合を強くなるように調整してください (P33)
4. ハンドル(左)の START/STOP ボタンと、ハンドル(右)の SPEED +/- ボタンが動作しない
 - 出荷時お客様のご要望でこの機能を切断している場合がありますので、管理の方にご確認ください。

その他ご不明点がありましたら、販売店へご連絡ください。

◆ よくあるご質問

1. 組立設置をお願いすることは出来ますか？ もしくは移動するので分解と組立をお願いすることは出来ますか？
 - お買い上げの販売店へご相談ください。
2. 破損させてしまいました。どうすればよいですか？
 - お買い上げの販売店へご相談ください。保証については『11. 保証』(P37)を参照願います。
3. ベルトの速度が速くならない
 - 走行ベルトが消耗していないか確認してください
 - タコ足配線などによる電圧不足の可能性がります
4. 電気代はどれくらいかかりますか？
 - 運動される方の体重や、ベルトの速度、お使いの地域・電力会社などによって変わりますが、おおよそ下記が目安です。
 - 速度 1.0Km 以下で連続歩行した場合、1 時間あたり 5 円～10 円程度
 - 速度 5Km で連続走行した場合、1 時間あたり 10 円～15 円程度
 - 速度 8Km で連続走行した場合、1 時間あたり 30 円～35 円程度

10. 製品仕様

品名	Refectio (レフエクトィオ)
型番	RFT-001J
モード	前歩行、後歩行、前後運動
速度	前歩行 時速 0.2Km~8.0Km(上限設定可能) 後歩行 時速 0.2Km~2.0Km(上限設定可能) 前後運動 時速 0.2Km~1.5Km
最大使用者体重	100Kg
駆動方式	AC モーター
定格電源	100V 15A 50Hz/60Hz
消費電流	最大 15A(100Kgの人が時速 8Km で走行時の最大) 平均 2A(70Kgの人が時速 1Km 以下で歩行時の平均) 5 A(70Kgの人が時速 5Km で歩行時の平均) 12A(70Kgの人が時速 8Km で走行時の平均)
定格消費電力	1500W
寸法	長さ 185cm 幅 83cm 高さ 117cm
重量	95Kg

11. 保証

◆ 保証規定

- 保証期間は、お買い上げから1年間とします。
- 保証1年以内に故障した場合には、無償にて不具合箇所のパーツを保証致します。
(走行ベルト・ドライブベルト・手すりラバー・エンドキャップ・ステップは対象外)
- 以下の項目については保証対象外とします。
 - ・ユーザーズマニュアル以外の操作方法を行った場合
 - ・地震、雷、火災などによる故障
 - ・使用環境・保管環境が著しく悪い場合（水に濡れる、砂やホコリなどが著しく多い場合）
 - ・屋外で使用した場合
 - ・お客様自身が修理や改造をした場合。もしくは当社メンテナンス員以外の人が修理した場合
 - ・保証書を紛失した場合。もしくは記載のない場合。
- 出張修理ご依頼の場合は、有償にて修理を承ります。
- 保証は日本国内に限ります。
 - ☆ お買い上げの際、保証書に販売店の印やお買い上げの日が記載されているかご確認ください。
もしくは領収書などを保管願います。

保証書

品名	Refectio (レフェクティオ)
型番	RFT-001J
シリアル番号	(例)1901-J0001 電源スイッチの横のラベルに記載されています。 □□□□-J □□□□
お買い上げ年月日	年 月 日
お客様	住所 〒
	お名前・会社名など
	電話番号
販売店	住所 〒
	会社名
	電話番号

製造・販売元 CBC 株式会社
〒104-0052 東京都中央区月島 2-15-13
電話 03-3536-4532